

『中原佑介美術批評選集』連動プロジェクト

# 中原佑介を読む

## 美術批評の地平 vol. 2

- 榎木野衣 | 5.14 | クラブヒルサイドサロン
- 岡崎乾二郎 | 6.15 | BankART Studio NYK
- 福住治夫 | 7.9 | クラウドサイドサロン
- 林 道郎 | 9.10 | BankART Studio NYK
- 加治屋健司 | 10.18 | クラブヒルサイドサロン
- 光田由里 | 11.12 | BankART Studio NYK
- 近藤幸夫 | 12.10 | クラウドサイドサロン
- 早見 堯 | 1.14 | BankART Studio NYK
- 池上高志 | 2.18 | クラウドサイドサロン
- 木幡和枝 | 3.11 | BankART Studio NYK



# 中原佑介を読む 美術批評の地平 vol.2

中原佑介氏は、戦後美術批評の地平を開き、透徹した論理と平易な語り口をもって、戦後日本の現代美術批評を牽引してきました。1955年、「創造のための批評」での鮮烈なデビューから、日本初の本格的な国際展となった1970年の「人間と物質」展、科学技術と芸術の問題を論じた『大発明物語』（1975年）、現代美術や現代彫刻についての入門書、そして2000年代の「大地の芸術祭」をめぐる一連の批評まで、氏の仕事は、戦後美術のあらゆるテーマを包括していたと言えるでしょう。その膨大な仕事をまとめた『中原佑介美術批評選集』（全12巻—うち1巻は英語版）の刊行が2011年8月よりスタート、2015年3月の完結を目指して出版が続いています。

「中原佑介を読む」第2弾は、選集で刊行されている巻に従って、そのテーマにふさわしい批評家、キュレーター、アーティスト等を招き、中原氏のテキストを自らの問題意識に照らしあわせながら読み込んでいきます。受講者は、同テキストを事前に読んでくることを前提として参加していただき、発表に対する質疑応答、議論を行いたいと思います。深い議論が展開されると思いますが、美術研究者だけでなく、様々なクリエイションの現場に関わる若い世代の参加を期待します。

**会期** | 2013年5月～2014年3月 毎月1回 ※8月を除く(全10回)  
**時間** | 19:30～21:30  
**定員** | 25名(応募多数の場合は選考あり)  
**参加費** | 全回通し 一般 20,000円 学生 10,000円、  
会員・スクール生 18,000円  
**申込** | 応募用紙に、氏名、所属等の他、自己紹介(+参加動機=400字程度)を記入し、以下までメールないしファックスで提出してください。  
**問合せ** | BankART スクール事務局  
school@bankart1929.com  
TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813  
**会場** | **BankART Studio NYK**(6月、9月、11月、1月、3月)  
〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9  
横浜みなとみらい線「馬車道駅」6番出口(赤レンガ倉庫口) 徒歩5分  
**クラブヒルサイドサロン**(5月、7月、10月、12月、2月)  
〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-2  
ヒルサイドテラス アネックスB棟2F  
東急東横線「代官山駅」下車 徒歩3分  
主催: BankART1929、クラブヒルサイド

## 『中原佑介美術批評選集』

- 第1巻 『創造のための批評—戦後美術批評の地平』
  - 第3巻 『前衛のゆくえ—アンデパンダン展の時代とナンセンスの美学』
  - 第4巻 『「見ることの神話」から—アイディアの自立と芸術の変容』
  - 第5巻 『「人間と物質」展の射程—日本初の本格的な国際展』
  - 第6巻 『現代彫刻論—物質文明との対峙』
  - 第9巻 『大発明物語—芸術と科学的思考』
- 発行: 現代企画室 + BankART 出版



受講生の方は、BankART1929、スクール会場にて各巻を本体価格より¥1,200割引でご購入頂けます

### 第1回 『第1巻 創造のための批評—戦後美術批評の地平』(1)

**榎木野衣** | 5月14日[火] | **クラブヒルサイドサロン**



さわらぎのい | 美術評論家、多摩美術大学美術学部教授。1962年埼玉県生まれ。評論のほか、新たな視点で話題を呼んだ展覧会「日本ゼロ年」「アノーマリー」などを企画。主な著書に『日本・現代・美術』『戦争と万博』『反アート入門』など。近年は岡本太郎の再評価や戦争記録画の再考にも力を注ぐ。

### 第2回 『第1巻 創造のための批評—戦後美術批評の地平』(2)

**岡崎乾二郎** | 6月15日[土] | **BankART Studio NYK**



おかざきけんじろう | 造形作家、批評家。1955年東京生まれ。82年パリ・ビエンナーレ招聘以来、数多くの国際展に出品。2002年にはセゾン現代美術館にて個展。同年「ヴェネツィア・ビエンナーレ」第8回建築展(日本館ディレクター)、現代舞踊家トリシャ・ブラウンとのコラボレーションなど、つねに先鋭的な芸術活動を展開。近畿大学国際人文科学研究科教授、副所長。

### 第3回 『第4巻 見ることの神話』から—アイディアの自立と芸術の変容』

**福住治夫** | 7月9日[火] | **クラブヒルサイドサロン**



ふくずみはるお | 1939年兵庫県生まれ。1967年より『美術手帖』誌(美術出版社)の編集にたずさわり、1971年から73年にかけて編集長をつとめる。その後、同社で書籍を編集。80年よりフリーの編集者/美術ジャーナリストとして活動。97年より美術誌月刊『あいだ』を主宰(同誌は2013年3月現在201号を数える)。トム・ウルフ『現代美術コテンパン』、アンディ・ウォーホル+バット・ハケット『ポップイズム』、エイドリアン・フォーティ『欲望のオブジェ』など、高島平吾名での訳書も多いが、現在は前記『あいだ』の編集に専念。

### 第4回 『第3巻 前衛のゆくえ—アンデパンダン展の時代とナンセンスの美学』

**林道郎** | 9月10日[火] | **BankART Studio NYK**



はやしみちお | 美術史、美術批評、上智大学国際教養学部教授1959年生まれ。主な著書に『絵画は二度死ぬ、あるいは死なない』『ゲルハルト・リヒター』(共著)『シュルレアリスム美術を語るために』(共著)など。訳書にエミール・ティ・アントニオニッチ・タックマン『現代美術は語る—ニューヨーク・1940—1970』(青土社)など。

### 第5回 『第5巻 人間と物質』展の射程—日本初の本格的な国際展』(1)

**加治屋健司** | 10月8日[火] | **クラブヒルサイドサロン**



かじやけんじ | 1971年千葉県生まれ。広島市立大学芸術学部准教授。日本美術フォーラム・ヒストリー・アーカイヴ代表。『中原佑介美術批評選集』編集委員を務める。共編著に『広島アートプロジェクト2008』、『From Postwar to Postmodern, Art in Japan 1945-1989』、共著に『マーク・ロスコ』など。共訳にボワ+クラウス『アンフォルム』。

### 第6回 『第5巻 人間と物質』展の射程—日本初の本格的な国際展』(2)

**光田由里** | 11月12日[火] | **BankART Studio NYK**



みつだゆり | 美術評論家、兵庫県生まれ、京都大学文学部卒業。専門は近現代美術史および写真史。著書に『高松次郎 言葉ともの—日本の現代美術1961—72』『写真、芸術との界面—写真史一九〇〇年代—七〇年代』『美術批評』誌とその時代』。共著に『大辻清司の写真—出会いとコラボレーション』『野島康三写真集』など。

### 第7回 『第6巻 現代彫刻論—物質文明との対峙』(1)

**近藤幸夫** | 12月10日[火] | **クラブヒルサイドサロン**



こんどうゆきお | 近現代美術史、慶應義塾大学准教授。1951年生まれ。慶應義塾大学大学院修了。80年から96年まで東京国立近代美術館勤務(主任研究官)。同館で「マクス展」「1960年代—現代美術の転換期」「現代美術における写真」展などを担当。主な著書に『ブランクーシ作品集』(共訳)『カラー版20世紀の美術』(共著)『ソフィ・カール—歩行と芸術』(共著)など。

### 第8回 『第6巻 現代彫刻論—物質文明との対峙』(2)

**早見 堯** | 1月14日[火] | **BankART Studio NYK**



はやみたくし | 美術評論家、阿佐ヶ谷美術専門学校研究科科長。専門は近現代美術、美術評論。早稲田大学第一文学部卒業。共著に『現代芸術事典』『近代名画歴史とアメリカ現代美術』『現代美術演習III』『山田正亮作品集』『二枚の絵』『カラー版20世紀美術』など。訳書にG・アイスラー『巨匠の裸婦デッサン』など。

### 第9回 『第9巻 大発明物語—芸術に対する科学的思考』(1)

**池上高志** | 2月18日[火] | **クラブヒルサイドサロン**



いけがみたくし | 複雑系科学、東京大学教授。1961年長野県生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。現在は東京大学大学院総合文化研究科教授として教鞭を執る傍ら、複雑系科学研究者として、アートとサイエンスの領域を繋ぐ活動も精力的に行う。著書に『生命のサンドウィッチ理論』『動きが生命をつくる—生命と意識への構造的アプローチ』など。

### 第10回 『第9巻 大発明物語—芸術に対する科学的思考』(2)

**木幡和枝** | 3月11日[火] | **BankART Studio NYK**



こばたかずえ | アート・プロデューサー、翻訳家、東京藝術大学先端芸術表現科教授。1946年東京生まれ。TBSブリタニカ、工作舎を経て、82年にアーティスト共同運営スペース「plan B」設立、88年より「白州・夏・フェスティバル」事務局長・実行委員。現在、P.S.1現代美術センターなどの客員キュレーターを務める。主な訳書にスーザン・ソング『この時代に想う』『良心の領界』『同じ時の中で』、ローリー・アンダーソン『時間の記録』、トニー・ゴッドフリー『コンセプチュアル・アート』など。